

入試情報

大学入学の関門が入学試験です。中央大学理工学部都市環境学科ではいろいろな入試システムがありますので、自分にあった方法でトライしてください。

■自己推薦入試（募集人員 10名）

第一次選考＝書類審査、第二次選考＝小論文・面接

■センター利用入試

併用方式（英語のみセンター試験で理科・数学は個別試験）・単独方式（センター試験（英語・国語・数学・理科）の結果のみ）の2種類

■一般入試

英語・数学・理科（物理、化学、生物から選択）の3科目による入試

■付属高校推薦入試 ■指定校推薦入試 ■スポーツ推薦入試

試験日程・配点等は中央大学ホームページ（<http://www.chuo-u.ac.jp>）で確認してください。

奨学金

中央大学では多彩な奨学金制度を用意して皆さんの学生生活をバックアップします。

■中央大学入学時貸与奨学金

（入学時に経済的な理由により学費納入が極めて困難な方を対象にした奨学金）

■スカラシップ制度

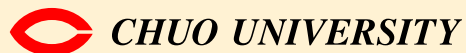
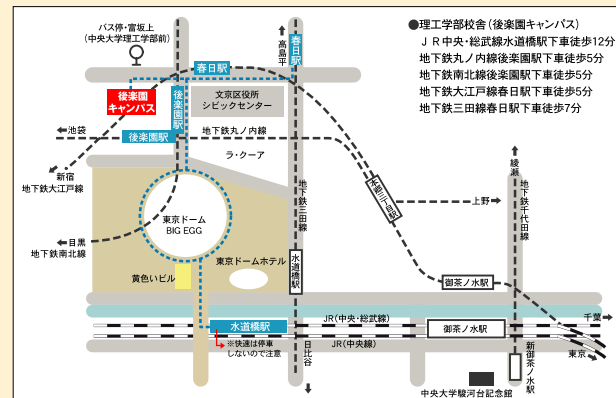
（出願時に所定のエントリーシートを提出するだけで入学試験成績上位者に奨学金を給付する制度）

■中央大学貸与奨学金

■日本学生支援機構奨学金

■理工学部奨学金

詳しくは中央大学ホームページ（<http://www.chuo-u.ac.jp>）で確認してください。



問い合わせ

中央大学 理工学部 事務室

〒112-8551 東京都文京区春日1-13-27
TEL : 03-3817-1742 FAX : 03-3814-0955

理工学部ホームページ

http://www.chuo-u.ac.jp/chuo-u/science/index_j.html

都市環境学科ホームページ

http://www.chuo-u.ac.jp/chuo-u/science_subject03/index_j.html

さあ、一緒に新しいまちづくりにチャレンジしよう

中央大学 理工学部

都市環境学科への招待状

■環境クリエイターコース

■都市プランナーコース



中央大学

中央大学理工学部都市環境学科の理念

安全・利便・快適そして持続可能な生活環境 (built environment) を、
市民とともに創造し、豊かな環境・文化を
次世代につないでいく責任の果たせる技術者の養成

地球システム科学に基づく
自然環境の理解

社会科学的方法による
都市空間の解説

美しい都市環境の創生

地球・地域のバランスを理解し、都市・環境をめぐる複雑なコンフリクトを解決

— 国際貢献 — — 持続可能性 — — 安全安心 —

(自然)

気候変動・温暖化
エネルギー・水資源
ヒートアイランド
自然・生態系の悪化
ゲリラ豪雨
地震・津波…

(人工物)

都市ストックの劣化
景観紛争・空家
ごみ・廃棄物
渋滞・混雑
災害脆弱性…

(人間)

孤独死
ストレス・犯罪
交通事故
公害健康被害
商店街の衰退…

都市・環境問題

都市環境学科の3つの特徴!!

1. 学び方

プロフェッショナルへの道は
ひとつではない。
選べる2つのコース。

●「環境クリエイター」コース

自然科学(数学・力学・化学など)を用いて自然を理解する力を身につけ、歴史・文化・地域固有の価値を読みとりながら環境をデザインするクリエイターをめざします。



●「都市プランナー」コース

まちづくりのために必要な法律・行政・財政などの知識を身につけ、「よりよい都市」を実現しようとの志を持ち、「よき仕事」を残そうと歩み続けるプランナーをめざします。



2. 科目

見る／書く／聞く／話す／
コミュニケーションを通じて
感性をのびさせます。

●デザイン・演習科目の充実

空間のデザインに必要な不可欠な理論やスキルを磨く科目が充実、さらに演習科目を通じて繰り返し学習することにより、講義で習ったことを定着させることができます。

●現場を見る、社会を知る

実際に現場を見学し、教室での授業ではできない体験をしたり、インターンシップを通じてあなたの興味のある職種や将来に関連する企業などの就業体験ができます。

●先輩から学ぶ「同窓生による講義」

伝統ある中央大学には10万人を超える先輩方が社会で活躍しています。最新技術やこれから解決すべき課題などについて同窓生から学びます。また就職相談会などを通じてみなさんの生活をサポートします。



3. 一人一人の「やる気」 応援プログラム

●個別学習カルテ

4年間で学ぶ専門知識がどれだけ身についたか、どんな目標を立てて生活するか、各自が「カルテ」を利用して半年ごとに振り返り、またそれを担任の先生と共有することで、大学生活の不安を軽減します。

●FLP(学部横断教育プログラム)

FLP(学部横断教育プログラム)は中央大学の全学の「知」が結集した総合大学ならではの教育システムです。理系文系を問わず他学科・他学部の学生とともに環境や地域学などについてより深く学ぶことができます。さらに、英語学習システムや留学支援システムなど、あなたのやる気を応援するプログラムがたくさんあります。



都市環境学科では何が学べるの？

デザイン

空間をデザインする

安全で便利な構造物をデザインすることだけでなく、地域の歴史・文化とも調和した美しい景観と自然環境の保全が求められる時代になってきました。構造物のみならず、周辺の空間との関係も考慮して、公共空間をデザインするための考え方や技術を学びます（空間デザイン、ランドスケープデザイン、ユニバーサルデザインなど）。



仮想空間で都市をデザイン

構造物をデザインする

安全で機能的な構造物（橋、ダム、道路、空港、鉄道、など）を設計・建設するための知識を学びます。壊して作る時代は終わり、これからは補修や管理により構造物を長く維持する時代です。設計から維持管理までのライフサイクルをデザインします（橋、ダム、道路、空港、鉄道、補修、管理など）。

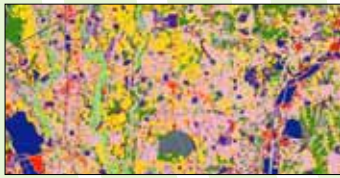


東京国際空港（羽田空港）の再拡張事業
（参照：国土交通省関東地方整備局東京空港整備事務所 資料）

都市

システムを運営する

ものをつくるだけでなく、効果的に利用されるように運営することを考えたり、また、利用や維持管理を行う手法などを考えます（法律の作成、プロジェクト計画・評価、公共財の管理、会計・財政、不動産など）。



都市の機能分類などを分析した土地利用図

システムをつくる

構造的に安全なものだけでなく、効率的に人やものを運ぶシステムや、魅力的な空間をつくります（都市・地域計画、交通計画、公園、造園、輸送システムなど）。

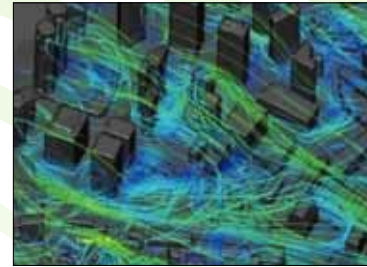


中国成都市河川総合整備計画（河川22kmを含む大規模な都市計画。成都市四川大学と姉妹校提携）

環境

自然から学ぶ

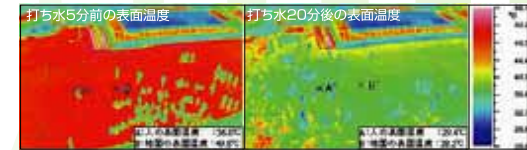
波や川、大気の流れや地盤の挙動などの自然現象を、実際に社会に適用するためには、複雑な現象をモデル化し検討することが必要となります。そのため、波・河川・地震・地盤などの自然現象や循環のメカニズムを学びます。



大気の流れの解析

環境を考える

ヒートアイランド現象、水質汚濁、大気汚染、土壌汚染、ゴミ問題などさまざまな問題が生じています。また、ものをつくったり、利用したりするときに、環境に気を配ることは必要不可欠です。このように自然そして人間をとりまく多様な環境を考えます（気圏・水圏・地圏の循環システムの理解、生態、景観、住環境など）。



打ち水による気温への影響

安全・安心

安全対策

自然災害（台風、洪水、地震、津波など）により、構造物（橋、ダム、道路、空港、鉄道など）に多大な被害が発生します。この被害を最小限に抑える安全対策として、設計法、対策工法、新技術などを考えます（自然災害、材料工学、防災対策、耐震構造、リスクマネジメントなど）。



地震による地盤の液状化現象に対する実験

安心な都市づくり

自然災害（台風、洪水、地震、津波など）による被害は、いつ起きるかわかりません。この被害に対して、都市や地域での対策が十分でないと、多大な被害が発生します。自然災害から私たちを守る安心な生活環境を考えます（ハザードマップ、避難経路、食料備蓄など）。



キャンパスライフ

都心に立地する後樂園キャンパスで「都市環境学」についてだけでなく、学生生活を通して多くのことを学びましょう!

入試


中央大学都市環境学科では、さまざまな入試システムを採用しています。自分に合った方法を選んで、挑戦してみてください。

- 自己推薦入試 (募集人員10名程度)
- センター利用入試
- 一般入試
- 附属高校推薦入試／指定校推薦入試／スポーツ推薦入試

自己推薦入試とは?
 都市環境を構成する大気・水・地盤などの自然環境システム、鉄道や橋梁などの社会基盤システム、あるいは制度や組織などの人間社会システムに興味と関心を抱き、将来都市環境学科での勉学を生かして社会へ貢献したいと希望している、個性豊かなみなさんが本学都市環境学科で学べるように、基礎学力、学習意欲、創造力に基準を置いた選考を行うものです。


入学

1年次……準備の1年
 高校までで学んだことを基礎として、これから「都市環境学」を学んでいくために必要な数学や物理学、測量学や情報処理などについて学びます。また、1年次には現場見学や実習などが多く設置されていますので「都市環境学」を体感しながら学ぶことができます。



コース選択…2年次進級時に、2つのコースのいずれかを選択します。

2年次……基礎を学ぶ1年
 2年次では「都市環境学」を考えていく上で必要となる土質力学や水理学、計画学などの基礎的な学問を学びます。ここで得た基礎知識を駆使し次年度からより深い専門分野を学んでいきます。コースを意識して、少しずつ自分の将来像を固めて行ってください。



▶ **環境クリエイターコース**
 環境をデザインするクリエイターをめざすコース

▶ **都市プランナーコース**
 都市をマネジメントするプランナーをめざすコース

3年次へ

3年次

コース変更…専門分野を学んでみて、もう一方のコースに興味を持った人は、コースを変更することも可能です。

3年次……専門分野を学ぶ1年

環境クリエイターコース
 固体と流体の力学的素養を身につけ、広域・長期的な視点から環境・施設のデザインについて考えることができるような技術者を目指します。



都市プランナーコース
 公務員・社会企業家～「良き社会」を実現しようとする志を持ち、「良き仕事」を残そうと歩み続けることができる技術者を目指します。



両コースの目標を達成するため、これまでに学んだ知識をより専門的に学びます。進路についても考える時期です。公務員への就職を希望する学生には、「**公務員講座**」を開設しています。



4年次

研究室配属…卒業研究を行うために、全員がいずれかの研究室に配属されます。

4年次……研究の1年

より深い専門知識を学ぶとともに、配属された研究室で卒業研究を行います。卒業研究を通して、各自が問題意識を持ち、それを解決していく力を養います。就職を希望する人は、社会へ飛立つ準備期間、進学を希望する人は、研究を進めるための準備期間でもあります。

大学院の単位が取れる!!
 進学を希望する人や就職してから専門知識を活かしたいと考えている人は、4年次に大学院の講義の単位を修得することが可能です

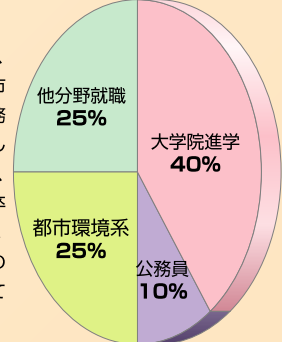



大学院

大学院について
 大学院は博士前期(修士)課程と博士後期(博士)課程と分かれており、それぞれ修了することにより修士・博士の学位が授与されます。多くの学生がが博士前期課程へと進学し、大学卒業後さらに2年間、さらに高度な専門知識の勉強や研究を行います。また国内外の学会において研究成果を発表します。加えて、中央大学では「**公共政策研究科**」・「**副専攻システム**」など都市環境学以外にも幅広い知識を学べる場を提供しています。

卒業時、学士(工学)の学位が授与されます。

就職
 卒業時に就職するうち、6割程度の学生は都市環境学に関係する公務員・民間企業に就職しますが、コンピュータ、金融、保険などでも卒業生が活躍しています。現在1500名以上の同窓生が公務員として活躍しています。



就職先	割合
大学院進学	40%
他分野就職	25%
都市環境系	25%
公務員	10%